

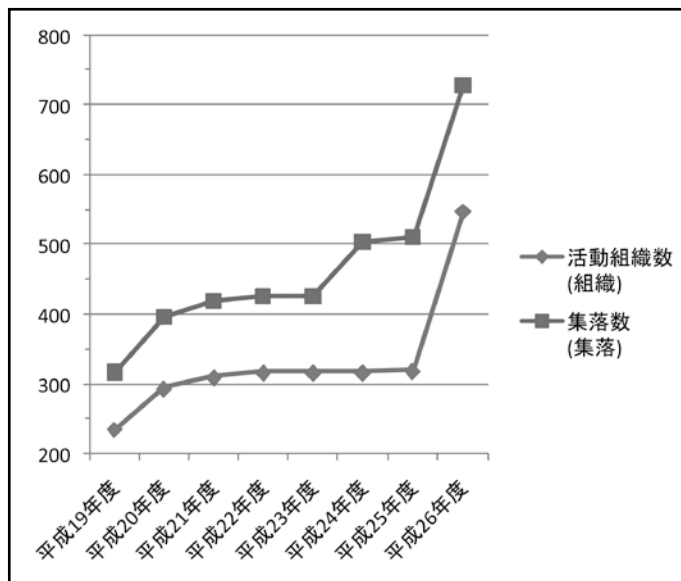
多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

多面的機能支払（農地・水・環境保全向上対策）年度別取組状況

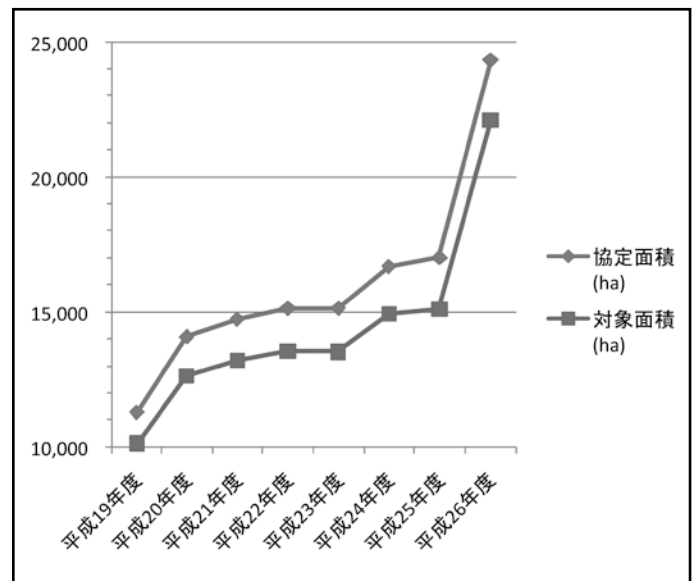
平成27年 1月末時点

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動組織数 (組織)	234	292	308	315	315	315	317	546
集落数 (集落)	316	395	417	424	424	502	510	728
協定面積 (ha)	11,295	14,077	14,737	15,128	15,127	16,689	17,007	24,328
対象面積 (ha)	10,125	12,634	13,209	13,524	13,503	14,908	15,071	22,110

取組集落数及び組織数



協定面積及び対象面積



「農地・水保全管理支払交付金」から「多面的機能支払交付金」へ制度が変更されたため、県内各地で説明会を開催し、啓発普及を図ったところ、平成25年度に比べ、県内の取組活動組織数は約1.7倍の546組織に、取組協定面積は約1.4倍の24,328haに増加しました。

平成26年度取組状況

農地維持活動に取り組んでいる組織	25市町	546組織
資源向上活動(共同活動)に取り組んでいる組織	23市町	434組織
資源向上活動(施設の長寿命化)に取り組んでいる組織	16市町	83組織

そば打ち体験と試食会を開催 【清し有田佐田沖環境保全会】（度会郡玉城町）

去る2月3日(火)に玉城町で活動する「清し有田佐田沖環境保全会」の世古地区で収穫したそばの実を使用したそば打ち体験と試食会を開催した。

平成26年度に景観形成を目的に栽培したそばの実は、昨年8月17日に播種を行い、12月6日に収穫されたものを使い、世代を超えた地域住民の交流を図るために企画された。

当日は、9時より会場となった「世古区公民館」でそば屋のご主人を講師に招き、各テーブル2人1組となり、木のこね鉢を用い、そば粉を水でかき混ぜて(水まわし)、それを練り、両手とめん棒で力強くこね、形(だし)を整え、最後にめん棒を使って生地を均一に伸ばして、伸ばした生地をめん棒でうまく折りたたみ、最後に包丁とこま板を使い、生地が同じ幅になるように繰り返し、繰り返し切っていた。

参加者は、生地を乾燥させないようにするため、講師の手

さばきを見つ、アドバイスを受つつ、休む暇もなく悪戦苦闘しながら次から次への工程をこなしていた。

出来上がったそばで、15時から一般住民を対象に試食会を開催した。

清し有田佐田沖環境保全会では、昨年度からそば打ち体験と試食会を実施しており、来年度も実施する予定である。



会場内に展示されたパネル(そばの播種～収穫)



木のこね鉢を用いたそば粉と水のかき混ぜ(水まわし)



講師の練りを真剣に見守る参加者



形(だし)を整える参加者



包丁とこま板を使った生地切り